

bbs-tek® White Sound® リバースアラーム _ ブロードバンド多重周波数を採用

バックアラームは敵か味方か？

bbs-tek リバースアラーム は、ロンドンに本社を置くブリゲード エレクトロニクス社が日本で設計開発した製品です。従来のバックアラームに比べより安心安全に優れ、騒音公害を軽減します。

2000年にイギリスで初めて導入されて以来、世界各地で bbs-tek を安全や環境に関する法規に加えられるようになり、欧米においては、様々な業界の多くの企業で bbs-tek は標準装着されています。

それでは、ピーブ音の何がいけないのでしょうか？

従来の警告音のアラームは、リスクのあるエリア以外でもよく聞こえるために不必要な拡散があるのです。その音は人に不快感を与え、本来の目的である危険が迫っているという警告ではなく、むしろ迷惑であり苦情を引き起こします。

米国歩行者安全強化法（*）の中の「警告音」の定義では、歩行者が近くの車両の位置が特定できることとあります。世界盲人連合（*）の代表であり、米国と UNECE（*）の法規を策定する作業部会に携わった視覚障害がある人たちの要求は、危険なエリアで十分な音量が得られ、音源の場所が瞬時に特定できる音です。交通弱者が安全に通行できるか否かの判断をする必要十分な音の仕様を求めたのです。

bbs-tek リバースアラームとは異なり、旧型の警告音は、

- 音が硬い表面に反響して人に誤った音の方向を与える。（混乱の原因）
- 危険な場所から遠くの場所でも、不快な音が不必要に聞こえる。（苛立ちの原因）
- 音は嫌われ、軽視されます。危険を知らせる警告では無くなる。（無視の原因）

などにより安全性を低下させるだけでなく、それらは騒音被害をも引き起こす原因にもなります。

"I don't want this as my epitaph"
President, WBU



（*）米国歩行者安全強化法 _USA Pedestrian Safety Enhancement Act (PSEA)

（*）世界盲人連合 _World Blind Union (WBU)

（*）UNECE_United Nations Economic Commission for Europe